

第6学年
国語科書写

単元名 点画のつながりを意識して書こう

教材名 願いごとを短冊にしたためる

単元の目標

- 点画のつながりを意識して、正しい筆順で漢字やひらがなを書くことができる。
(知識及び技能)
- 正しい筆順と点画のつながりを意識することで、字形が整いやすくなることを理解する。
(思考力、判断力、表現力等)
- 正しい筆順と点画のつながりを意識し、リズムよく運筆することができ、ひらがなの成立にも関心をもつ。
(学びに向かう力、人間性等)

指導のポイント

本単元の前半では、点画のつながりを意識して書くよう指導する。ポイントは、正しい筆順で書くことと、始筆の位置を考えてリズムよく運筆することである。筆脈が途切れぬよう、画と画のつながりに着目させる。また、毛筆の特性を生かし、リズムよく書き進む楽しさを感じさせたい。

本単元の後半では、文字の大小や配置について考えさせたい。単元のまとめとして、各自が考えた願い事を、小筆を用いて短冊に書き、笹に結わえて展示し、その成果を披露し共有したい。

また、焦点を絞った意見交流や、短冊の鑑賞会などの機会を設けて、自らの考えをまとめて伝える力をつけたい。

単元の指導計画

	児童の学習活動	指導上の留意点
1	○点画のつながりを意識して、正しい筆順で練習する。	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字を正しい筆順で書くことの意義について考えさせる。 ●「飛」を一筆書きし、点画のつながりを考えさせる。
2	○点画のつながりを意識して、正しい筆順で練習する。	<ul style="list-style-type: none"> ●ひらがなを正しい筆順で書くことの意義について考えさせる。 ●「ぶ」を一筆書きし、点画のつながりを考えさせる。 ●点画のつながりを意識して「飛ぶ」の練習をさせる。 ●試し書きと清書を比べて、自己評価をさせる。
3	○ひらがなの成立について知る。 ○漢字からひらがなへの変化	<ul style="list-style-type: none"> ●ひらがなの成立と万葉仮名について簡単に解説する。 ●漢字がひらがなに変化する過程をプリントで示す。 ●板書したひらがなの元の漢字を考えさせる。
4	○漢字とひらがなの交じった課題文について、正しい筆順でつながりを意識して清書する。	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字・ひらがな混用の課題文から、一つを選ばせる。 ●選んだ課題を、筆順とつながりを意識して、小筆を用いて試し書きをさせる。(半紙縦 1/2 程度の大きさに) ●グループに分かれて文字の大小や配置について考えさせる。
5	○短冊に文字の大小、配置やつながりを意識して、願い事を書く。 ○短冊を笹に結わえ付ける。 ○願い笹の鑑賞会を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ●各自が考えてきた願い事を練習用紙に小筆で試し書きする。 ●文字の大小、配置やつながりについて確認させる。 ●清書用短冊を配布し、小筆を用いて清書をさせる。 ●願い笹を鑑賞した後、校内で掲示する。

展開例（本時 4/5）

本時の目標		点画のつながりを意識して漢字とひらがなを体裁よく書くことができる。	
導入	児童の学習活動	指導上の留意点	
	1	前時までの学習を確認する。	○点画のつながりを意識して書く際のポイントについて想起させる。
展開	2	本時のめあてを確認する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>○漢字とひらがなを、つながりを意識して書こう</p> <p>○文字の大小、配置について考えよう</p> </div>		
	3	複数の課題の中から、ひとつを選択する。	○複数の課題を黒板に掲示し、ひとつを選ばせる。 ○課題は、多字数（5～6字）で、漢字・ひらがな混用のもの。
	4	課題を半紙縦 1/2 に小筆を用いて書く。	○点画と点画、文字と文字のつながりに着目させる。 ○筆脈を赤鉛筆でつないで書かせて、点画のつながりを視覚的に理解させる。 ○小筆の執筆方法についても指導する。
	5	文字の大小、配置について考えたことを友達と交流する。	○自分が心がけたことを相手に伝え、アドバイスをもらうという方法を全体で確認してから交流させる。 ○焦点を絞って意見交流ができるよう助言する。
	6	再度、各自で課題を仕上げ、清書する。	○グループで話し合ったポイントについて、できる限り実現するよう指示する。 ○試し書きと清書を見比べさせ、自己評価をさせる。
まとめ	7	本時の振り返りをするとともに、次時の課題を知る。	○グループごとに本時を振り返り、達成度を測る。 ○次時に各自の願い事を書くことを予告し、課題として言葉を考えてくるよう指示する。